

# 貨客船利用し記念企画

日本海未来  
ウオーキング10周年



鳥取県中部で6月に行われる日本海未来ウオーキング(NPO法人未来、新日本海新聞社など主催)に、今年は韓国の大韓ウオーキング連盟(李康玉理事長)のメンバーらが参加する。今年で10回目となる同大会の記念事業として企画。環日本海定期貨客船を利用して韓国から境港・倉吉をウオーキングで結び、大会を盛り上げる。

## 日韓グループが集合

大韓ウオーキング連盟 流会も開いている。李理事長は日本のウオーキングを取り入れ、ウオーキングを韓国で大きく発展させたという。

同連盟は、韓国ウオーキングのメッカでWHO健康都市にもなっている江原道原州市で韓国のウオーキング大会を開催。2日間に参加者延べ3万5千人を集めているほか、大会前日には世界約20カ国から500人のウオーカーが出席する交

の関係者が19人が同大会に参加、交流を深めた。その際、未来が開いている日本海未来ウオーキングの10周年記念事業として、韓国と境港を結ぶ定期貨客船を利用したウオーキングイベントの実施を大韓ウオーキング連盟に提案。李理事長は参加



韓国のウオーカーと交流するNPO法人未来の訪問団(2009年10月、韓国原州市)

を快く承した。計画では、今年の日海未来ウオーキングは6月5、6日に開くが、その前に日本と韓国から15人ずつ合計30人が原州市に集合。東海市に移動して定期貨客船に乗船する。境港で下船した後は倉吉市まで79.5キロ、大山町や琴浦町で宿泊しながら3日間かけて歩き、未来ウオーキング参加者と合流する。境港市・倉吉市間の沿線市町村の住民にも呼び掛け、一行と一緒にウオーキングする参加者も募る予定だ。

未来ウオーキング実行委員長を務める遠藤公章さん(42)は「韓国では、地元の人が気軽に声をかけてくれ、距離を近く感じている」と世界に広がるウオーキングの輪に期待。未来ウオーキングでは「地元の人には地域を再発見してもらい、訪れた人には鳥取県中部の良さを知ってもらいたい」と話している。

(中部本社・八橋祥佳)

NEAR North East Asia Region  
北東アジアのページ

鳥取 トンバ ソウル 上海 台北 北京  
ウラジオストク

NEAR=北東アジア地方を表しています